

神戸大学長の業務執行状況の確認結果について

令和5年6月5日
神戸大学学長選考・監察会議

国立大学法人神戸大学学長選考・監察会議規則第3条第4号に規定する学長の業務執行状況の確認を以下の通り執り行いましたので、その結果を公表します。

1. 確認の方法

「神戸大学長の業務執行状況の確認に関する基本方針」及び「国立大学法人ガバナンス・コード」に基づき、学長及び監事との意見交換を通じて、学長の業務執行状況を精査した。

なお、精査に際して、以下の資料を参考にした。

- ・学長の説明資料
- ・監事の説明資料
- ・学長選考時に表明した「所信表明書」

2. 対象となる期間

藤澤学長の任期の1年目（令和3年度）及び2年目（令和4年度）を対象として確認を行った。

3. 確認した結果

対象となる期間については、「知と人を創る異分野共創研究教育グローバル拠点」を目指し、強い研究教育経営体に向けて改革を進めていることが確認できた。

特に力を入れたこととして、

研究面では

- ・AI等を駆使した世界最高水準の健康長寿統合研究開発拠点の構築
- ・カーボンニュートラル推進本部及びウェルビーイング推進本部の設置による全学的な連携推進
- ・デジタルバイオ&ライフサイエンスリサーチパークとの協働による時代に呼応した研究課題への取り組みと社会貢献
- ・産官学連携活動の推進とスタートアップ育成への注力
- ・リサーチハブ構築による学内研究資源の共有、連携、活用
- ・大学フェロシップ創設事業等による支援体制構築
- ・若手研究者の早期プロモーションを図る卓越教員制度の創設

教育面では、

- ・数理・データサイエンスセンターの強化
- ・リカレント教育推進室の設置、地域社会や企業と連携したリカレント教育及び産官学共創教育への注力
- ・創造的医療機器開発人材を育成する医学研究科医療創成工学専攻の開設

運営面では、

- ・神戸大学関連会社である株式会社神戸大学キャピタルによる、国立大学初の100%民間資本による大学ファンド設立、及び学内スタートアップ育成におけるGAPファンド支援等の一貫した支援体制構築
- ・外部資金の積極的な獲得
- ・経営状況の透明性と信用性を高めるための大学信用格付けの取得
- ・第4期中期目標期間における全学KPI設定、部局単位KPI等の設定による達成度評価及び改革・活性化の推進

等が挙げられる。

学長は所信表明で掲げた「異分野共創研究教育」をすでに具現化させつつあるなど、スピード感ある取り組みは高く評価できる。

ただし、学長をトップとする大学執行部と部局とのコミュニケーションや、構成員の意見を吸い上げるボトムアップ体制の改善を求める声もあることに鑑み、学内における円滑な意思疎通と合意形成にいつそう配慮されるよう望む。

学長任期後半2年間においても、藤澤学長のもとで、神戸大学の全構成員が一致協力して卓越した大学づくりに邁進されるよう期待する。